

2027年 今東光 没後50年プレ企画展示



昭和34年12月20日田中幸太郎撮影の「常光寺の山門前」と「現在の山門」をコラージュ、「今昔」をイメージしたものです。

2026.9.19 令和8年

(土)→2027.6.13(日)

※期間中一部 展示替え予定

直木賞作家が残した文芸と八尾の魅力を伝える

今東光 資料館

K O N T Ō K Ō M U S E U M

■入館無料

■開館時間 10：00～17：00

■休館日 月曜日(祝日の場合は開館)毎月館内整理日/年末年始等

※詳しくは HP 等でご確認ください

〒581-0003 八尾市本町二丁目2番8号 TEL.072-943-3810

■近鉄大阪線「近鉄八尾駅」から徒歩約7分

■JR大和路線「八尾駅」から徒歩約16分

■Osaka Metro(地下鉄)「八尾南駅」から近鉄バス利用「八尾市役所前」下車



※ホームページ (HP)



田中幸太郎

1901  
-1995

河内風土記  
撮影記録帖

◆昭和三十四年十二月二〇日曜日

八尾常光寺・御坊

・・・正午すぎから八尾（近鉄）  
の駅に降り立つ。お天気具合香し  
からずも折角来たので前のコース、  
常光寺から商店街通り、天神、  
八尾御坊を通って帰る。

常光寺は前に一度夏に行った  
ときに居た老人がいて何かと話  
をする。商店街の様子は大した  
変りはないがすっかり冬景色に  
なっていた。



今東光と同時代に活躍し、東光と同じく八尾の人・まちに魅せられた写真家 田中幸太郎。明治34(1901)年三重県伊勢市生まれ。

八尾に直接の縁はありませんでしたが、東光が“河内もの”で活躍を始めた頃一緒に仕事をしたことから交流がはじまりました。

東光は「田中君、河内はおもしろいで!ひとつ、やらんか?」そう言って河内に誘ったそうです。

昭和30(1955)年頃から始まった河内の取材は、既に関西写真界で活躍していた田中幸太郎をして河内に次第にのめり込ませていき、10年以上をついやしました。

河内を撮影した日々は、平成5(1993)年写真集『日本の原風景 河内 シャモとレンコン畑』として結実しました。



平成6(1994)年開催された「京都国際映画祭 / 第7回東京国際映画祭一京都大会」では、これを題材にした映画が、同ハイビジョンフェスタでグランプリを受賞しました。(受賞作は企画展中、資料館でご覧いただけます)